

●竹蛇籠現地説明会 竹蛇籠の設置 2月3日

【竹蛇籠で魚の棲み処づくり 解説学習会 の感想】

所要により遅れて参加しました。参加者は15名ほどだったかと思います。そのうちの1名は、近畿大学の2年生でしたが取組みに興味を持ち自らの意思で参加したということでした。

心地よい気温に気持ちの良い晴れ渡った青空のなか、胴長を着用された竹門先生が中聖牛のたまりに網を突っ込んで水生生物を捕獲・解説、参加者がその作業を見守り・熱心に耳を傾けていました。

印象としては、オイカワという魚が多かったようです。常に水が流れている滞筋は、遠目には平坦な河床のところを水が流れているといった印象でしたが、中聖牛の近辺は本川と滞筋は繋がっていないものの河床は凸凹しており、変化に富んだ状態となっていました。また、中聖牛も設置当初のすっきりした姿から洪水の影響を受けたかっこいい姿に変身していました。

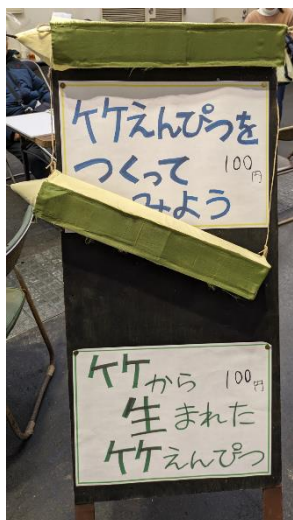
この場所を今まで以上に生態系豊かな環境にするべく、武田信玄が考案したとされる「将棋頭」構想のお話を伺い、やましろ里山の会がこれまで何年もかけて実施してきた中聖牛や竹蛇籠の取組みが、さらに大きく広がっていくことに事業の継続や多くの人たちと共同していくことの大切さを学ばせていただきました。(小川芳也 大阪工業大学)



●京都府環境フェスタの取組 2月3日

チラシは150枚を用意しましたが7枚しか残っていませんでしたので凄く撒きました。竹ペンは60本、2本あげたかたもいたので50人くらいに渡したのではないかと思います。芯削りを持って行って良かったです。やはり知らない人も多くめずらしそうに！削る感覚も、削れる感触も味わってもらえたので（解るわかる）と喜んでもらったと思います😊モノづくりの楽しさかな！

値段も100円で問題無さそうな感じが受け取れました。



た。やはりあそこまで作るのに時間がかかると理解してくれている人が多くおられたような気がしました。次回は値段表も机の上に置き解るようにしたいですね。(木下勉)



寺村さん一家や田中美知世さん淀川事務所の岡田さん、木林、重原、中島、国島（三山木江津在住）の府関係の方々、乙訓の田子さん、水質保全機構事務局長の今井崇さん、ぽぽぽクラブ、澤井さん等、沢山の来訪がありました。

●母ちゃんズの頑張りについて

2月3日には木津川の玉水と伏見区のパルスプラザでの二つに分かれてのイベントに取組みが重なりました。いつもお手伝いに来ていただく篠原さんは朝8時に家を出発して9時からの会場設営に大奮闘をいただきました。会場設営に丸型机や会議机や折り畳み椅子を大急ぎで軽トラックから運び込みました。息つく間もなく展示物の張り出しや机椅子の配置に追われ、あれこれ考える間もなく大忙しの会場づくりでした。そうこうしている内にオープン演奏が会場に響き渡り、お客さんが入場してきましたが、松ぼっくりは整頓できていませんし、竹ペンコーナーの立看板は設置できていませんでした。スタッフの皆さんは必死に動き回り、少しして一息つきました。この大忙しの中、篠原さんは冷静に判断して作業をこなして下さり、来客の対応にもてきばきと処理をしていただきました。全く打合せをしていないのに、必要な対策を読み取っての行動力には感心しました。本当に助かりました。

●学習会1 山城の希少植物 2月7日(水) 13:00~15:30 中央公民館 講師：光田重幸さん

この冬に学習会を計画しました。その第1回目としてこれまで里山の会の植物部門を指導をいただいていた光田重幸先生から山城地域の希少植物についてのお話をいただきました。南山城村や和束、笠置、木津川市、井手町、京田辺市、城陽市、八幡市、宇治市における先生がされてきたスライドを2時間をかけて詳しく解説を受けました。参加いただいた中には、大阪の大東市から駆け付けられた田中光彦さんもおられました。質問の時間には皆さんが日ごろ感じておられる疑問にもわかりやすくお話がありました。又京田辺市の環境基本計画について、①木津川地域、②甘南備山地域、③普賢寺・打田地域を重点地域に指定されると面白いのではないかと意見がありました。木津川での植物調査や普賢寺でのオオムラサキ・ヤマトサンショウウオなどの長年の観察調査実績は素晴らしいものです、と先生から評価されました。また報告として昨日6日にはヤマトサンショウウオの卵嚢が2対の発見を金田さんから届いたことで、出席者から喜びの声が上がりました。この日の出席者は平日の寒い時でしたが12名もの集まりになりました。



●メダカのお譲り会

白サギがメダカを片っ端から食べてしまいました。これまで毎年沢山のメダカをかえしてきましたが、予定していた取組みができるようにと池の周りの小枝を切り揃えるなどをして見栄えを良くしようと草刈りにも時間を割いて手入れをしていただきましたら、予想もしていなかった白サギが飛んできました。まだ残っているかもしれませんが、殆ど見つけられないのが現状となりました。すぐに網をかけての対応策をとってみましたが、非常に厳しいことになりました。期待をしていた皆さんには残念なお知らせをしなければならなくなりました。

●2月17日の竹蛇籠設置にご参加を

2023年度には木津川に魚の棲み処づくりとして竹蛇籠の設置を準備してきました。木津川を管理する出張所からは竹蛇籠の設置を了解いただき、栗石の提供と固定杭の提供などの支援も頂きました。2月17日(土)の10:00から玉水浜に6mの竹蛇籠6本の栗石詰めを行いますので多くの皆様の

ご協力をお願いします。この場所はこれまで中聖牛を4群12基を設置してきたところで、魚が棲む場所として役立つと思います。今年の木津川での魚とりの会場として使用したい所なのです。今のところ出席いただく予定者は15人程度でいささか作業が厳しくなる見込みです。こぞってご参加下さることをお願い致します。

13日には栗石を駐車場までの運び入れ、14日には設置位置杭打ちと竹蛇籠の運搬、15日には29本の固定杭打ちを行って前準備を行います。そして17日9:30分から蛇籠に栗石詰めを行い残石の処理を行って竣工する予定です。人数が揃えば午前中で完了とすることが出来ます。皆さんお手伝いに来て下さい。お待ちしております。

●里山農園の進め方 心の悩みを癒すために役立つお話 2月16日(金)13:00受付 田辺中央公民館

里山農園には、心の悩みを抱えておられる皆さんにも来ていただければと考えています。里山農園のスタッフの皆さんに、どう対処して頂ければ良いのかを、長年教員経験を積んでこられた戸谷嘉之先生からお話しをしていただきます。現場の現職の先生方の悩みなどについてもお話しいただけるかもしれません。是非お立ち寄りいただければ大変有難いと思います。私たち里山農園は、栽培農園に加えて、間もなく春の訪れを告げるウグイスの初鳴きや蝶の乱舞、ホタルの出現を楽しめる自然豊かな農園をさらに利活用して、心の悩みを癒せる農園が次に目指す課題ではないかと考えております。そのための対応策として取組みますのでよろしくお願い致します。こぞってご参加ください。

●近畿建設協会 地域・街づくり支援事業(50万円)の申請のために

数年前、近畿建設協会に申請書を提出して50万円の支援事業金をいただきました。それから何年か過ぎていきますのでこの辺りで申請してみてもとの助言がありました。7日の事務局会議に提案すると、特別にダメという意見も無かったので、「通ればヨシ」として申請書をそれぞれが書き上げようということになりました。いい内容のところを取り挙げて出席者一同が苦心することになります。何事も経験を重ねてゆくことが大切だねと話し合いました。皆さんからヒントをいただければ有難いです。締め切りは3月19日です。詳細は近畿建設協会のホームページを閲覧してみてください。

●今年も待ちに待ったヤマトサンショウウオの卵囊を確認

金田さんが2月6日に2対見つけて下さいました。昨年の夏の猛暑が続きこの冬は雨が少なく、たまりが干し上がるような天気が続きましたので心配していました。産み付けられて一安心です。



会誌56号原稿募集



55号を発刊して早くも56号の原稿を募集する時期が来ました。日頃の暮らしのなかで気付いた出来事や面白かったこと、そして何より腹立たしいこと等、心に残る出来事を記して頂きたいのです。お世話になりますがよろしくお願い致します。是非、お届けした記念ボールペンで一文を記していただき、出来ましたら1000文字程度に写真などをつけていただくと有難いです。里山の会にお送り下さるよう、よろしくお願い致します。お待ちしております。